

品名	エタノールを含む混合製剤	国連番号	1170
		指針番号	127

該 当 法 規 ・ 危 険 有 害 性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火薬類取締法			道路法	
類別						品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧ガス	液化石油ガス	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12,13に該当
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
			●			第4類 アルコール類									

特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性	性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固体	液体	気体	水溶性
				常温	加熱時 火災時	水に接触						
		●	●	●	●		●	●		●		●

事故発生時の応急措置

- ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならない場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ 火気厳禁。エンジンの熱や火花は着火源になる。
- ④ 保護具を着用し、漏れ止め・消火を行う。

緊急通報

119 (消防署) 110 (警察署) 高速道路の非常電話

[緊急通報例]

1. いつ ○○時○○分頃
2. どこで ○○市○○地区 (国・県・市) 道○○線○○付近で
3. なにが 「エタノールを含む混合製剤 (引火性液体)」が
4. どうした 漏れています、または 漏れて周辺火災が発生しております
5. ケガ人は ケガ人がいます (救急車をお願いします) ケガ人はいません
6. 私の名前は ○○○○運送会社 ○○○○です

緊急連絡

(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)

荷主会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 平日・夜間 休日・昼間 休日・夜間

荷主会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 平日・夜間 休日・昼間 休日・夜間

品名	エタノールを含む混合製剤	国連番号	1170
		指針番号	127

災 害 拡 大 防 止 措 置

特記事項	処理剤	消火剤：粉末消火剤 耐アルコール性消火剤など
------	-----	---------------------------

- ① きわめて燃えやすい。熱、火花、火炎により容易に発火する。
- ② 蒸気は空気と混合して爆発性混合気体を形成する。
- ③ 吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。
- ④ 蒸気は皮膚からも吸収されて、有害作用（頭痛、視力障害、胃腸障害、不眠症等）を及ぼすことがある。

漏洩・飛散したとき

- ① 引火・爆発の可能性があるので、必ず保護具を着用して風上で作業する。
- ② 危険でなければ漏れを止め、排水溝、下水溝、地下室や閉鎖場所への流入を防ぐ。
- ③ 砂、吸着マット等に吸着させて取り除き、密閉できるプラスチック容器に回収する。
- ④ 回収後、多量の水で洗い流す。ただし、直接河川、用水路には流さない。

周辺火災のとき

- ① 危険でなければ、容器を火災の場所から移動する。
- ② 移動不可能な場合は、容器または周囲に散水し冷却する。

引火・発火したとき

- ① 必ず保護具（防毒マスク等）を着用して、風上で作業する。
- ② 消火する場合は、粉末（ドライケミカル）、炭酸ガス、乾燥砂、耐アルコール泡（アルコフォーム）などを用いる。または大量の水を用いて消火する。
- ③ 爆発性の危険があるので、付近の住民等を安全な場所に避難させる。

緊急措置

- ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせ、多量の水で洗い流す。
- ② 火傷したときは直ちに幹部を冷水でできるだけ長く冷やす。患部に衣類が張り付いていれば脱がさない。
- ③ 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。
(人工呼吸は口対口法を用いてはいけない。逆流防止のバルブがついたポケットマスクや他の適当な医療用呼吸器を用いる。)
- ④ 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
- ⑤ 患者が発生した場合は、最寄りの病院へ運び、医師に暴露物質名を伝える。